

データ番号	407
効用の種類	物理・化学作用による環境改善効用
見出し	樹木の数が増えると大気中の汚染物質が減る
出典	(『緑の本～女子美術大学公開講座』1992 求龍堂) 「環境としての「緑」」進士五十八
内容	<p>アメリカ造園協会 (ASLA) の研究会 (G.O.ロビネッティら) によると、粒子汚染物質量を調査したところ、フランクフルト駅近くでは単位空気量当たり18,000粒程度の濃度の物質が空気中に含まれていたが、同時刻のロスチャイルド公園では1,000～3,000粒程度であり、緑の中では汚染物質の量は1/18から1/6以下であることがわかった。</p> <p>また、街路樹下では1ℓの空気中に3,000粒の粉塵が含まれていたのに対し、樹木のない街路では10,000～12,000粒と4倍も含まれていた。樹木が大気浄化に効果があることがわかる。</p>
備考	